

第3回小中学校の望ましい在り方検討委員会要旨報告

日時 18年2月7日(火)午後7時~午後9時

場所 勝山市教育会館

出席者 検討委員委員及事務局員

事務局より報告説明

1. 特別認定校視察報告

17年11月15日に小松市立西尾小学校を事務局が視察したので報告をする。

特別認定校制度

自然環境に恵まれた立地条件と、小規模校の優れた面を生かすことができる学校を認定し、就学を希望する児童生徒が通学区域にとらわれずに就学できる制度。

2. 市PTA連合会代表と市教委の対話集会報告

17年11月22日に市PTA連合会の主催により、教育会館において、「小中学校の望ましいあり方について」対話集会を実施したので、その内容を報告する。

3. 小中学校の保護者説明会の実施報告

17年12月19日から21日にかけて各小中学校の二学期保護者会に事務局職員が出向き、平成16年度検討委員会の中間報告、各小学校及び地区別の年齢別児童数の推移、アンケートを調査のための統廃合モデルパターン(案)等を資料により説明する。当日出席できなかった保護者にも、資料を配布する。

4. 幼稚園・保育園保護者代表と市教委の対話集会報告

18年1月30日に教育会館において「小中学校の望ましいあり方について」対話集会を実施したのでその内容を報告する。

5. アンケート調査について

検討委員の意見

- ・アンケートを実施すべきと思うが、結果が今後どのような意味を持つのか、事前に教示して欲しい。
- ・アンケート結果を公表するのではなく、この委員会の内部資料とすべきでないか。ただ、公表を求められるのは必至だろう。
- ・統合する新校を示さないと、判断しづらいのではないか。
- ・園や学校あるいは地区によって統廃合に温度差がある中で、アンケートをする意味があるのか。

検討の結果、今回のアンケートは、保護者がどのような考えを持っているか知るため、小中学校保護者のみを対象として実施する。結果は参考資料として使用し、今後の統廃合の方向性を示すものではないこととする。またアンケートをとるための統廃合パターンを次のとおりとし、調査表の最終構成は事務局に一任することにした。

- 1案 統廃合せず、現行の学校を維持
- 2案 複式学級解消のための統廃合
- 3案 1学年複数学級がある学校への統廃合